

5・6年生「スナメリプロジェクト」

【実践のねらい】

豊かな瀬戸内海や学校から眺めることのできる鯨島を素材に、「かつて生息していたスナメリを呼び戻そう！」を合言葉に、海の環境調査とアマモ栽培、海の達人への聞き書き活動を通して、地域の自然（海）や環境、文化について学び、海や郷土を愛する心を育てる。体験的活動、探究的活動を多く取り入れるとともに、活動を下級生や地域、他校へと発信することを通して、主体的に学び、実践する力へとつなげる。

○時数 4～3月 70時間（総合的な学習の時間）

○関連 国語科、理科、社会

○目標

- （1）一年を通じた鯨島調査や海の達人への聞き取りを通して、地域の自然や環境、文化に対して、課題をもち、主体的に情報を収集、分析し、解決しようとする事ができる。
- （2）アマモ栽培や植え付け、活動報告を通して、海を豊かにするために何ができるか主体的に考え、実践しようとする事ができる。
- （3）海の達人（専門家、地域の方々）から話を聞いたり、地域の方と活動したり、地域へ発信したりすることを通して、地域の自然や環境、文化に対して愛着をもち、郷土を愛する心をもつことができる。

【主な連携機関と内容】

- ・瀬戸内海エコツアーリズム協議会：活動指導
- ・三原市漁業協同組合：調査のための船の借用
- ・三原市管財課：鯨島調査許可

